

平成23年度 文化庁映画賞 文化記録映画優秀賞

君達には

いたい事があるかね？



長編記録映画 (上映122分)

桂俊太郎監督作品 共同監督 すずき靖 井手洋子

夢と憂鬱 ~吉野馨治と岩波映画~

「いたい事があれば誰でも映画はつくれる」
といったプロデューサー吉野馨治とはどんな人物だったのか。
彼の「夢と憂鬱」はまさに日本の戦後史であった。

企画・製作 記録映画「夢と憂鬱—吉野馨治と岩波映画」製作委員会

製作スタッフ 製作 村山英世 脚本 桂俊太郎 演出 桂俊太郎 すずき靖 井手洋子 撮影 尾崎邦夫 沢田康武
音楽 藤江隆男 解説 徳弘夏生 C-G 植田秀蔵 リサーチ 矢澤拓男 録音 高木創(東京テレビセンター)
監修 吉見俊哉 丹羽美之 中村秀之 簡井武文 鳥羽耕史 とちぎあきら

問い合わせ先

記録映画保存センター

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-6-13-702

TEL : 03-3222-4249 FAX : 03-6380-9590 URL : <http://www.kirokueiga-hozon.jp>

君達にはいいたい事があるかね？

長編記録映画

夢と憂鬱 ～吉野馨治と岩波映画～

岩波映画の創立者の一人、吉野馨治は人間が科学的な考え方をすれば豊かな社会をつくれると信じたが、その科学に最後は裏切られます。吉野の科学映画にかけた夢と苦悩を、多くの関係者の証言と名作で解き明かす。



証言と映像で綴る記録映画史

証言者 (17人)

井坂能行 大津幸四郎 奥村祐治 片野満 小村静夫 重森和子 竹内亮
高木隆太郎 土本典昭 羽仁進 羽田澄子 藤瀬季彦 牧 衷 吉野宏
吉野寿子 吉野正 吉原順平

使用映画 (37作品)

1. 「火の車お万」(1928) 年 監督 曾根純三 撮影 大井幸二 河合映画
2. 「上海」(1939) 監督 亀井文夫 撮影 三木茂 東宝
3. 「戦ふ兵隊」(1939) 監督 亀井文夫 撮影 三木茂 東宝
4. 「雪の結晶」(1939) 指導 中谷宇吉郎 撮影 吉野馨治 東宝
5. 「霜の花」(1948) 指導 中谷宇吉郎 撮影 吉野馨治 日本映画社
6. 「凸レンズ」(1950) 演出 小口八郎 撮影 吉野馨治 岩波映画
7. 「はえのいない町」(1950) 演出 村治夫 撮影 吉野馨治
8. 「村の婦人学級」(1957) 演出 羽田澄子 撮影 小村静夫
9. 「佐久間ダム 第一部」(1954) 演出 高村武次 撮影 小村静夫
10. 「天竜川」(1952) 演出 高村武次 撮影 小村静夫
11. 「佐久間ダム 第二部」(1955) 演出 高村武次 撮影 加藤和三
12. 「かえるの発生」(1955) 演出・撮影 吉田六郎
13. 「ひとりの母の記録」(1955) 9月 演出 京極高英 撮影 加藤和三
14. 「教室の子供たち」(1954) 12月 演出 羽仁進 撮影 小村静夫
15. 「絵を描く子どもたち」(1956) 1月 演出 羽仁進 撮影 小村静夫
16. 「双生児学級」(1956) 7月 演出 羽仁進 撮影 小村静夫
17. 「新しい製鉄所」(1959) 演出 伊勢長之助 撮影 瀬川順一
18. 「巨船ネス・サブリン」(1961) 演出 楠木徳男/富沢幸男 撮影 牛山邦一
19. 「橋のしくみ」(たのしい科学) 1957.12 演出 矢部正男 撮影 富沢昌一
20. 「ガラスの秘密」(たのしい科学) 1958.5 演出 各務洋一/桑野茂 撮影 今野敬一
21. 「水車」(たのしい科学) 1961 演出 合田寛 撮影 中山正治
22. 「冷蔵庫の話」(たのしい科学) 演出 渥美輝男/斎藤英二 撮影 富沢昌一/中山正治
23. 「浮世絵の復刻」(年輪の秘密) 1959年 演出 秋山幹一 撮影 今野敬一
24. 「久留米かすり」(年輪の秘密) 1959年 演出 土本典昭 撮影 狩谷篤
25. 「海壁」(1959) 7 演出 黒木和雄 撮影 加藤和三
26. 「ルポルターージュ炎」(1960) 12 演出 黒木和雄 撮影 小村静夫
27. 「わが愛 北海道」(1962) 6 演出 黒木和雄 撮影 清水一彦
28. 「新潟県」(日本発見) 1962.3 演出 秋山幹一 撮影 奥村祐治
29. 「山梨県」(日本発見) 1961.8 演出 土本典昭 撮影 鈴木達夫
30. 「鹿児島県」(日本発見) 1962 演出 土本典昭 撮影 鈴木達夫
31. 「群馬県 1」(日本発見) 1962.1 演出 黒木和雄 撮影 鈴木達夫
32. 「東京都 1」(日本発見) 1962.4 演出 土本典昭 撮影 奥村祐治
33. 「群馬県 2」(日本発見) 1962.4 演出 羽仁進 撮影 栗田尚彦
34. 「東京都 2」(日本発見) 1962.5 演出 各務洋一 撮影 田村勝志
35. 「東京オリンピック」1964.10 ニュース映画
36. 「動き回る粒」1970 演出 金重義宏 撮影 古瀬昭生
37. 「水俣一患者さんとその世界」1971 監督 土本典昭 撮影 大津幸四郎 東プロ

映画評

監督の孤独を感じる

おそらくこの作品にはさまざまな見方や評価が出てくるものと考えられます。ものをつくるとはつくり手の孤独を通して万人につながると私は考えています。岩波映画の歴史を通し吉野を通して監督は何を描こうとしたのか。全体共通の主題を信じたからだだと思います。(映像作家)

考えさせられる問題を提示している

「2回目の方が面白い」、初見では、短編映画界の事や岩波映画についてある程度の知識が必要なようで、この点の理解が進めば、この映画は様々な観点から考えさせられる問題を提示している。(旅館経営者)

過去の作品が素晴らしい

吉野さんの「科学的にものを考えれば世の中はよくなる」というお言葉に共感しました。世の中の人はみんな自然のなかで生きているのだから、自然科学に興味だけでも抱くべきですよ。(映像制作ディレクター)

庄巻の日本の記録映画史

吉野馨治さんの人物像や岩波映画製作所の歴史を浮き彫りにする構成はそのまま、庄巻の日本の記録映画史ですね。この国の歴史や精神性なども考えるきっかけをいただく見応え満載の名作でした。(翻訳者)

生活や社会のことを深く考えるきっかけになる

記録映画をこれだけまとめて見たことがなかったので、大変貴重な経験となりました。映像としてだけでなく、生活や社会のことを深く考えるきっかけになると思います。(会社員)

科学への不安がピタッとハマった

「夢と憂鬱」については、たくさんの方々から良かったという感想を戴きました。「科学への信頼」が揺らぎつつある今、パズルの一片一片が、この映画で、ピタッとハマった様な感じがします。(記録映画祭事務局員)

映画の未来を信じたい

力作でした。科学を信じていた吉野さんと息子さんがスモンに罹ったことはショックでした。しかし、もっと心を動かされたのは、映画の未来を信じていた方たちの話だった。私たちは映画にどんな未来を見ることが出来るのか、絶望的にならずに考えたい。(映画監督)

的確な問題提起がなされている

吉野氏、岩波映画、科学と経済成長/弊害などについて、記録と的確な問題提起がなされている。科学映画は今も正しい内容を伝えていると思う。(NPO理事)

鮮やかな作品だ

吉野さんの伝記として、記録映画の歴史として、また戦後史の一断面としても筋の通った、鮮やかな、興味深い作品になっている。(マスコミ評論家)

奥深いものを感じました

最初は？と思いましたが、映画を見て、奥深いものを感じました。「君達にはいいたい事があるかね？」←いいですね。つい、だまって仕事をすることに慣れてしまった私達に、ピリッと刺激を与える一言です。(教員)

